

【受験体験記】～進学か就職か～

○日本郵政株式会社 信越支社

高校へ入学した時は、自分自身は得意としている美術を生かして専門学校へ進学したいと考えていました。しかし、二年の後半になると専門学校を卒業したあと、自分は何の仕事に就きたいのか、と考え始めました。専門学校で色々と学んでも、本気で学びたいのではなく、〇〇が得意だからそういうのを学べる所へ行きたい... という程度の軽い気持ちでたくさんのお金を払って進学しても、卒業後にそれを生かせなければ、全くの無意味なのでは？と考えました。そこで私は、就職というもう一つの選択肢も良いなと考えました。

私は春から日本郵便へ就職しますが、なぜ郵便局へ就職したいと思ったのかというと、手紙とは人と人をつなぐとても大切なもので、それを届けるという配達の役割はとても責任が重く、やりがいのある仕事だと感じたからです。今、スマートフォンなど便利な機械が普及し、手紙を使わなくても簡単にメールで相手に伝えたい内容を送ることが出来るため、手紙だけでなく、年賀状を出す人も減ってきていると思います。しかし、私は手紙にはメールなどと違い、待つという楽しみや相手に親しみを持ってもらえたり、手元に一生残るという手紙ならではの素晴らしさがあると思います。ですので、私は配達員をしていく中で、手紙の大切さを伝えるというとてもやりがいのある仕事をしたいです。皆さんもやりがいを感じることが出来る様な仕事を見つけてほしいと思います。